

2006 年度

科目名 美術鑑賞法	対象学科・学年 文学部日文1回生	担当者 江村 公
授業テーマ 近現代美術史入門		
授業の概要と目標 西洋近現代の美術史のながれを追いながら、美術史の基礎的知識を身につけると同時に、さまざまな作品の見方を学ぶ。それによって、「わけのわからない」現代芸術もまた、歴史的な根拠、もしくは社会的な要請から生まれた文脈に位置づけられることを確認したい。		
評価方法 学期末レポートの成績 + 平常点（講義中に提出してもらう感想文）		
テキスト 使用しません。	著者	出版社
参考書 講義中に指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. はじめに——西洋絵画の見方 2. ロマン主義と新古典主義 3. 印象主義、新印象主義、後期印象主義の作品の理解と鑑賞 4. 後期印象派・ナビ派の作品の理解と鑑賞、 5. 表現主義の作品の理解と鑑賞、 6. セザンヌ、キュビズム、未来派の作品の理解と鑑賞、 7. パウハウスの理解と鑑賞、 8. ウィーン幻想派の理解と鑑賞、 9. ダダイスムの理解と鑑賞、 10. シュルレアリスムの理解と鑑賞、 11. 抽象表現主義の理解と鑑賞、 12. コンセプチュアル・アート、ミニマリズムの理解と鑑賞 13. エイブルアート、プリミティヴィズムの理解と鑑賞、鑑賞カード記述。 14. パフォーマンス、インスタレーションの理解と鑑賞。 15. 新しい写真表現の理解と鑑賞		